

No. 1046

金婚式をお迎への両陛下

1月26日、天皇・皇后両陛下は御結婚満50年^{*}金婚式。を迎えられました。
大正13年1月26日挙式されて50年、宮中では祝賀の儀と一般の記帳が行なわれました。大正7年に婚約された時、天皇陛下は16歳、皇后さまは14歳、若かりし頃の写真を仲間つまじく御覧になる両陛下はますますお元気の様子です。

焼けあとの子ら

—横浜・伸愛学園—

焼けあともなまなましい学園。昨年9月、横浜市保土ヶ谷にある養護施設「伸愛学園」は、火事で建物の約五分の三を焼失した。収容されていた42人の児童は11の施設に分散収容され、先生は全員解雇された。しかし、解雇に反対する先生は焼け残った学園に籠城、さらに子供達も伸愛学園に住みたいと焼けあとにもどってきた。それから一カ月、焼けだされた学園を修復し、先生5人と26人の児童、それに支援の卒園生もかけつけて再建をめざす生活と闘いがはじまった。しかし、横浜市から支給されていた子供達の生活費と先生の給与を含む措置費は打切られ、カンパにたよる生活が続いている。先生と共に子供達も横浜市と学園の再建、措置費の支給を求めて再三交渉、子供達を分散収容しなければ措置費を支給しないという市の主張と、伸愛学園にいたいと願う子供達の主張は依然として平行線をたどったままだ。そして学園を経営している理事者にどこへ消えたのか姿を見せない。養護施設の9割までが自治体の監督のもとで国が運営費を措置費として支給し、経営は理事会に委託するという形式をとっている。年々福祉予算は増えてきた。しかし、そこにどれだけ心が通っていたか。国や自治体は金を出して知らん顔、理事者はめんどうがおきれば簡単に子供達を切捨てる。焼けあとの子らはどうすれば良いのだろうか。